

# 《別添一2》 堰下流右岸深掘狀況調査

# 堰下流右岸深掘状況調査

## 堰下流右岸深掘状況調査

堰下流右岸深掘状況調査は、堰下流右岸で確認されている局所洗掘箇所において、出水中の深掘れ進行状況(河床変動)を把握することを目的に実施したものです。

調査地点は、平成18年度に設置した既設固定杭による観測地点3地点(既設鋼管杭固定杭式)と、鋼管杭を建込み、リングウエイトを通して河床に設置する観測地点5地点(鋼管杭建込式)の合計8地点です。

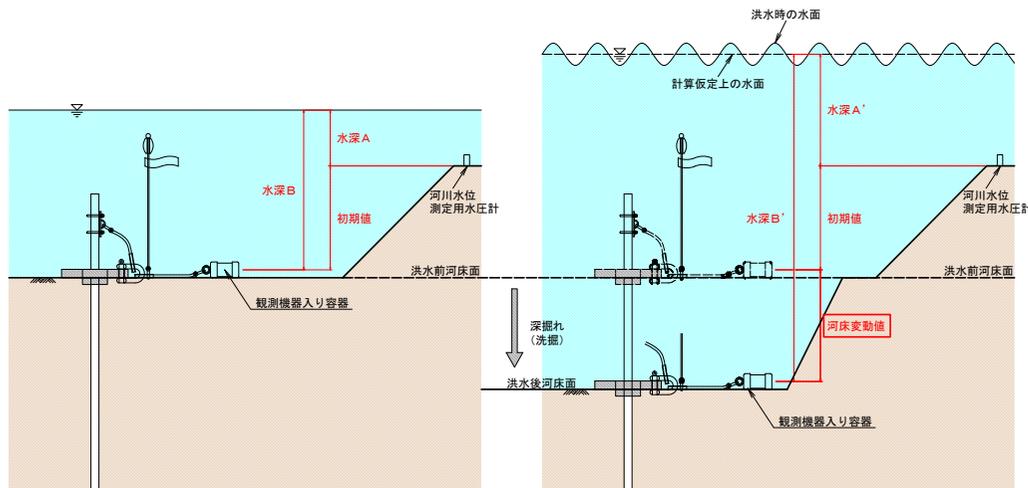
### 【水圧変化による河床変動量の観測方法】

出水期早期の段階で次頁の調査地点の河床に水圧計を沈設し、洪水による河床変動とともに水圧計の標高が低下する傾向を捉えました。なお、沈設する水圧計の標高は、別途設置する河川水位測定用の水圧計にて測定する洪水時の河川水位標高と河床に沈設する水圧計が示す差をもとに計測しました。

#### 【算出式】

$$\text{河床変動量} = \text{水深} B' - \text{水深} A' - \text{初期値}$$

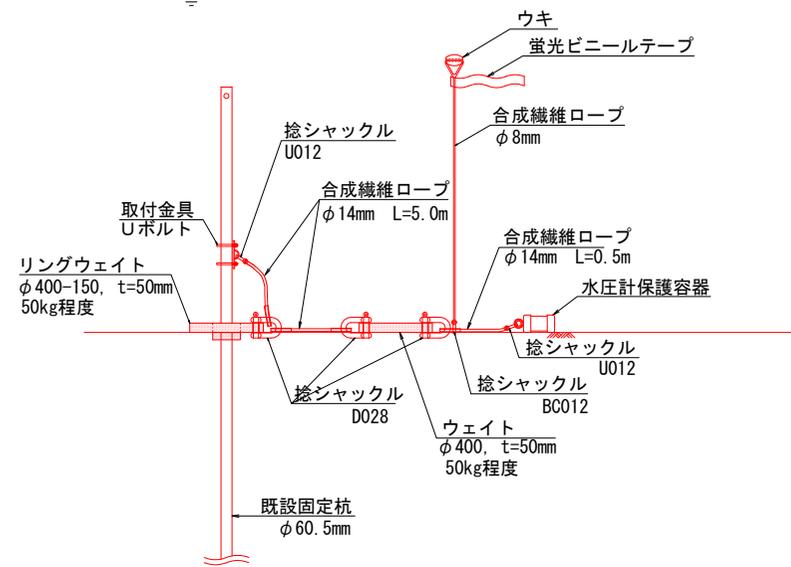
※水深データは、各水圧計のデータに大気圧を補正して求める。



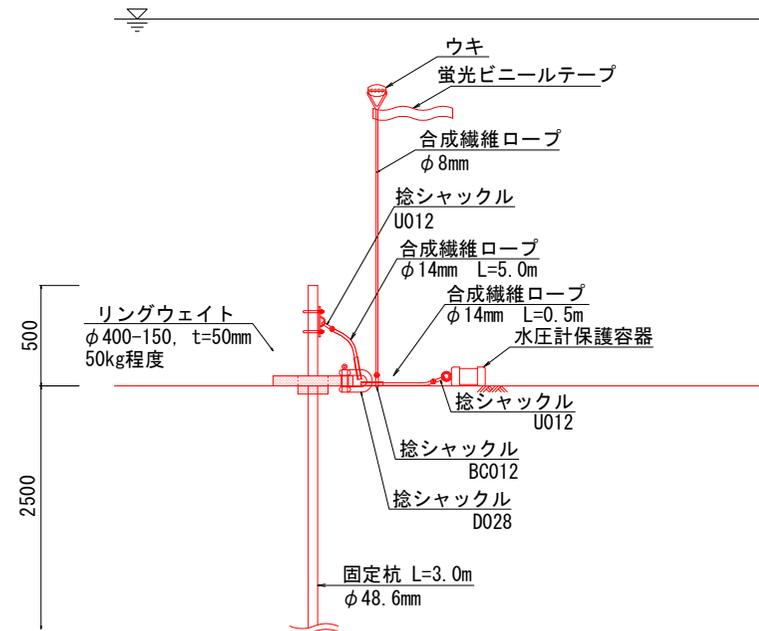
【平常時】

【洪水時】

### 既設鋼管杭固定杭式



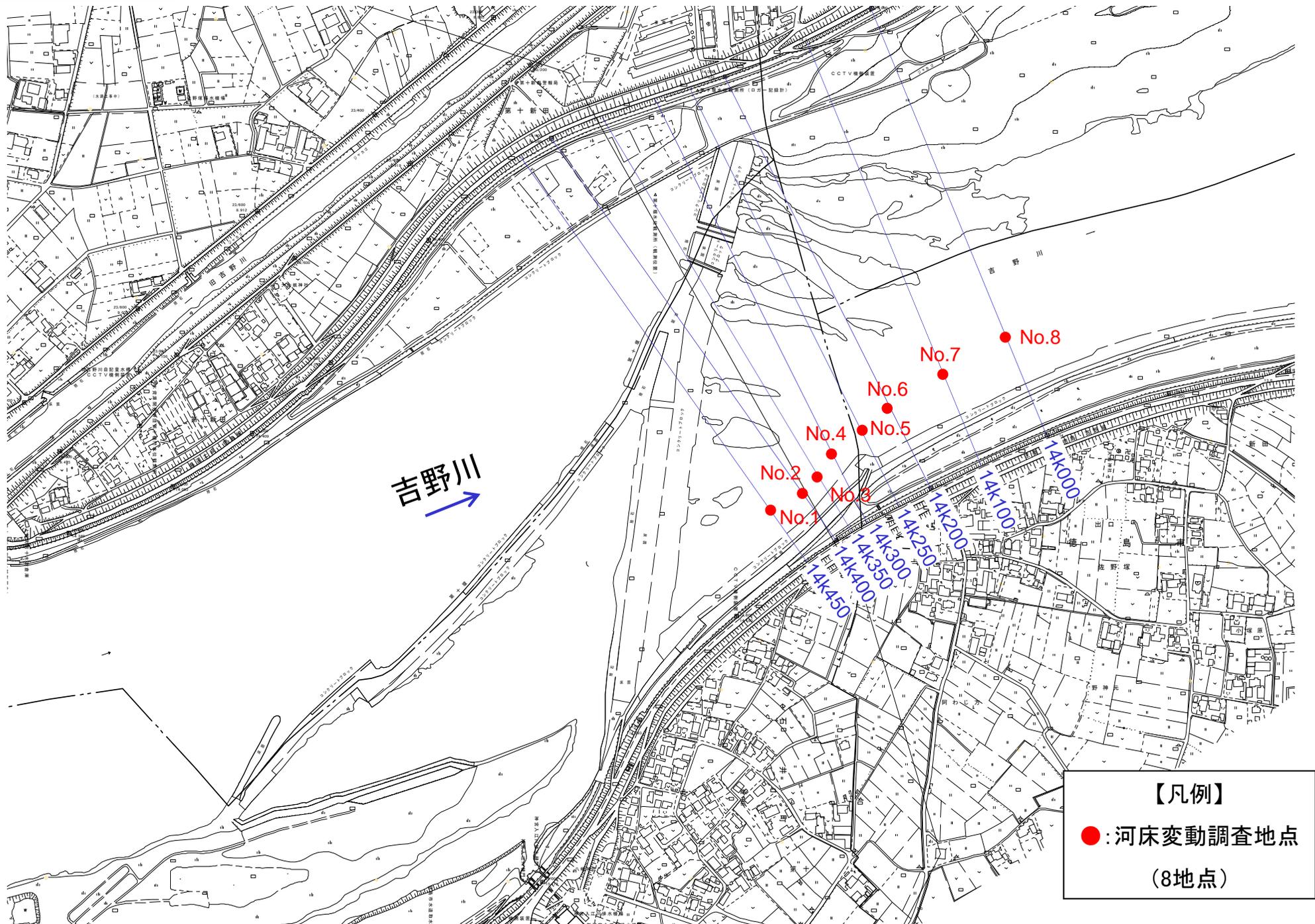
### 鋼管杭建込式



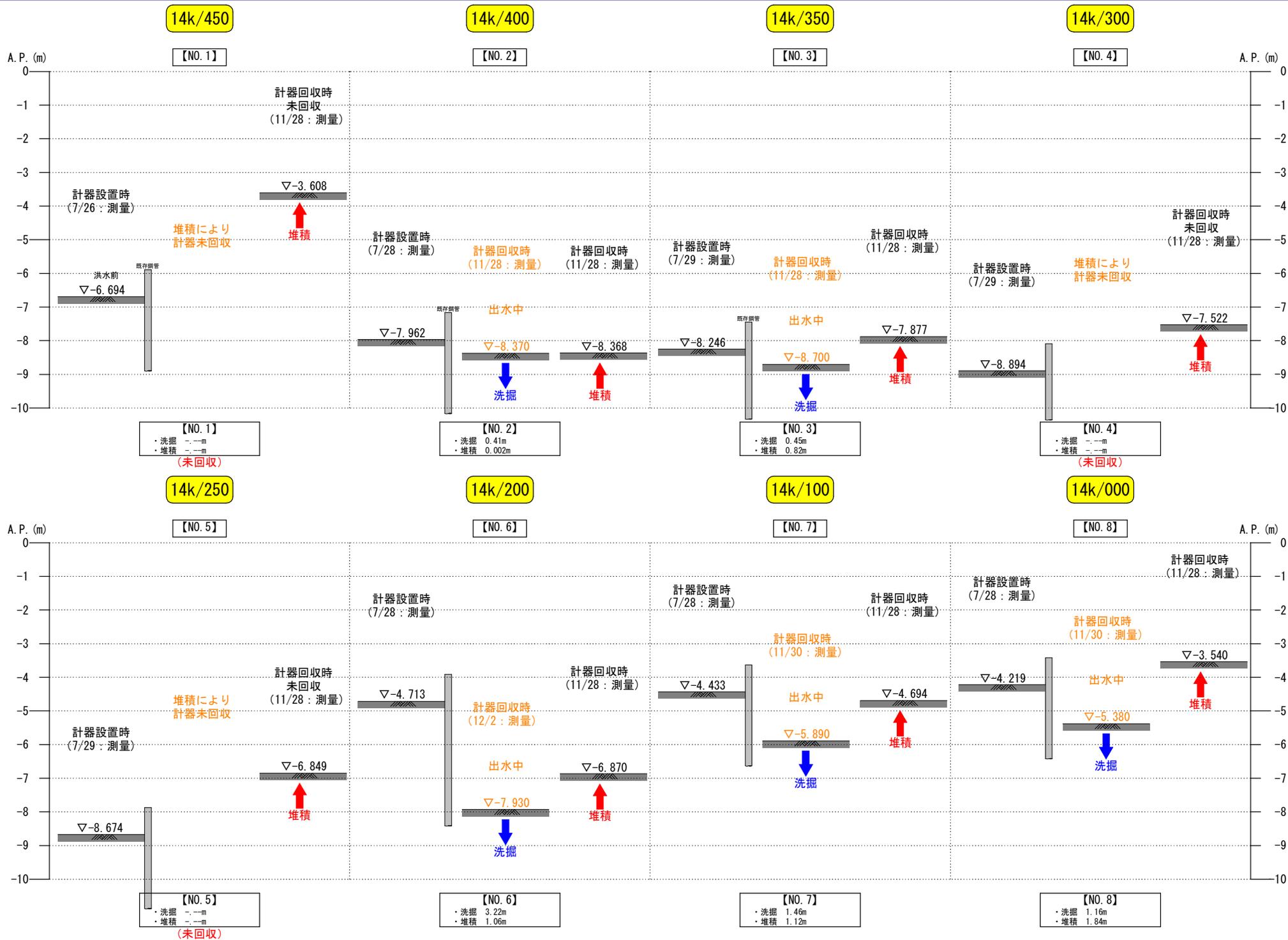
水圧計設置要領図

# 堰下流右岸深掘状況調査

水圧計設置位置図

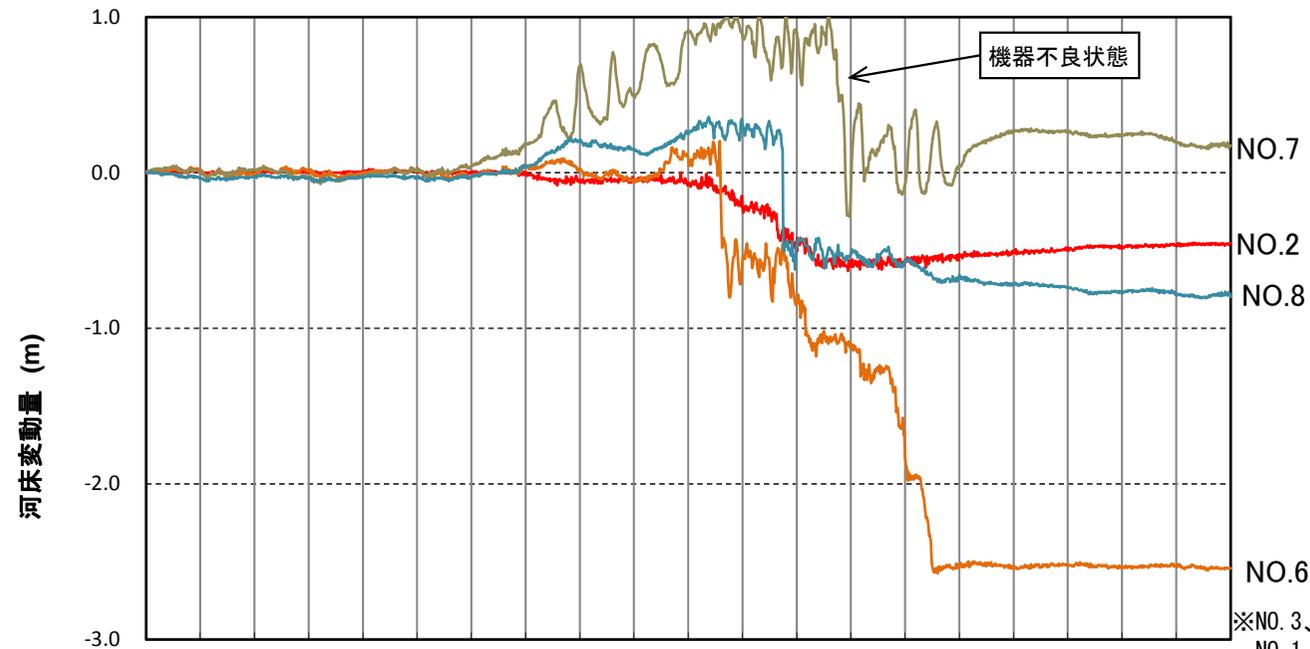
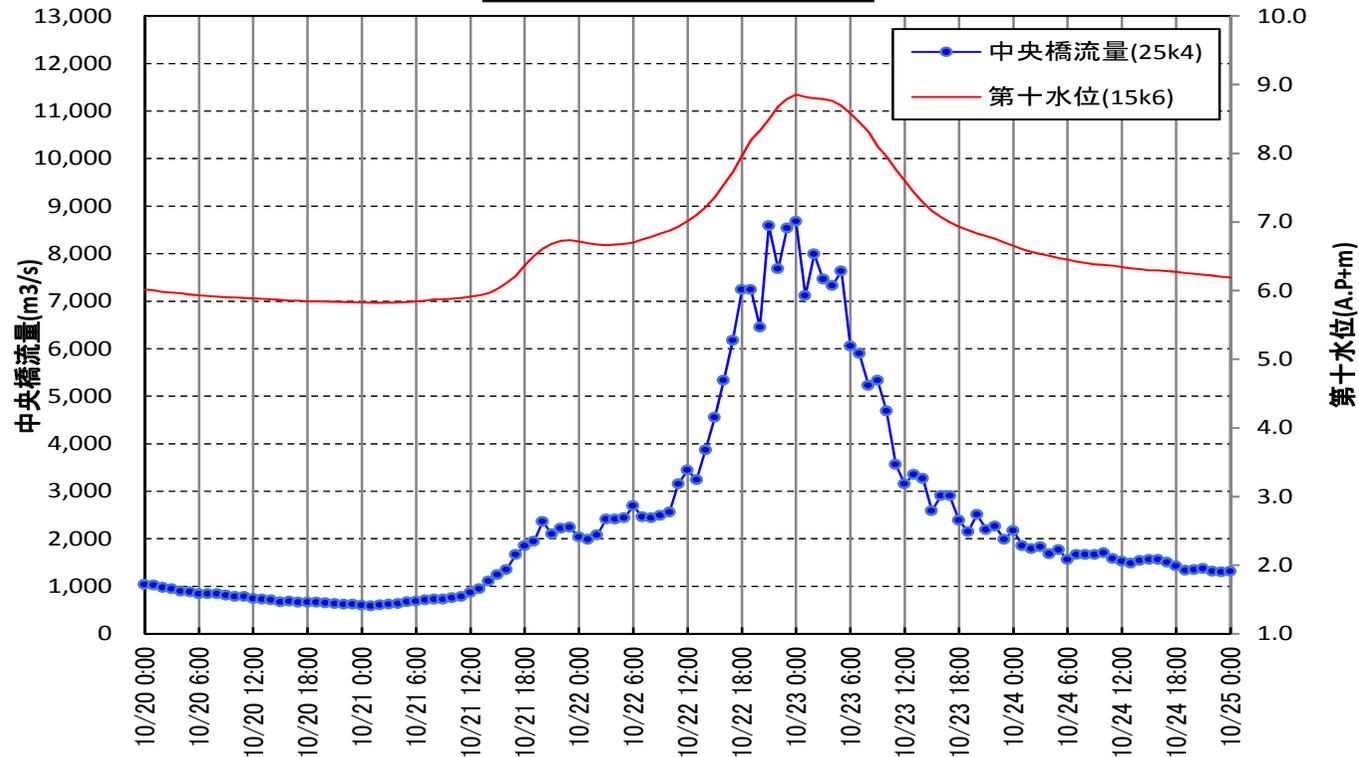


# 平成29年度堰下流右岸深掘状況調査



# 平成29年度堰下流右岸深掘状況調査

台風21号における観測結果

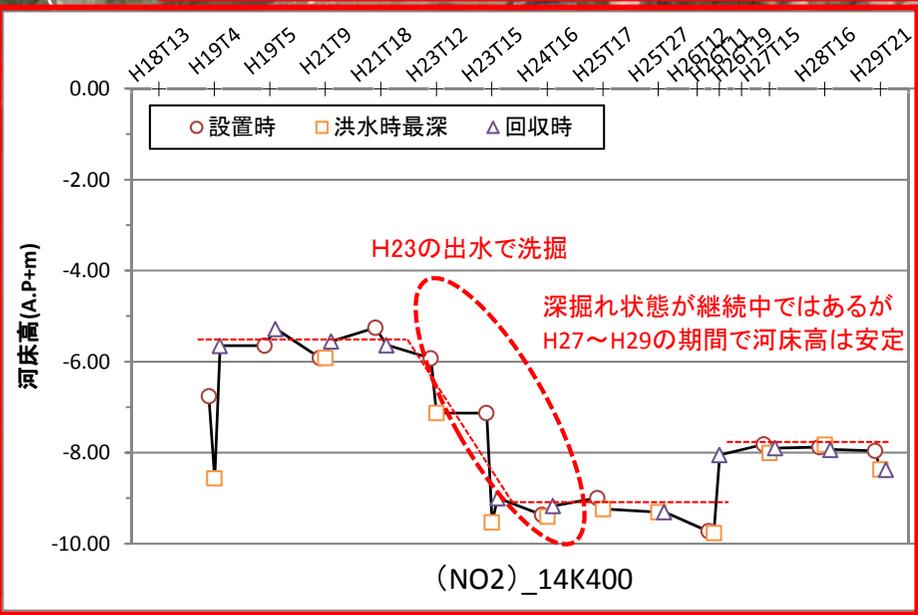
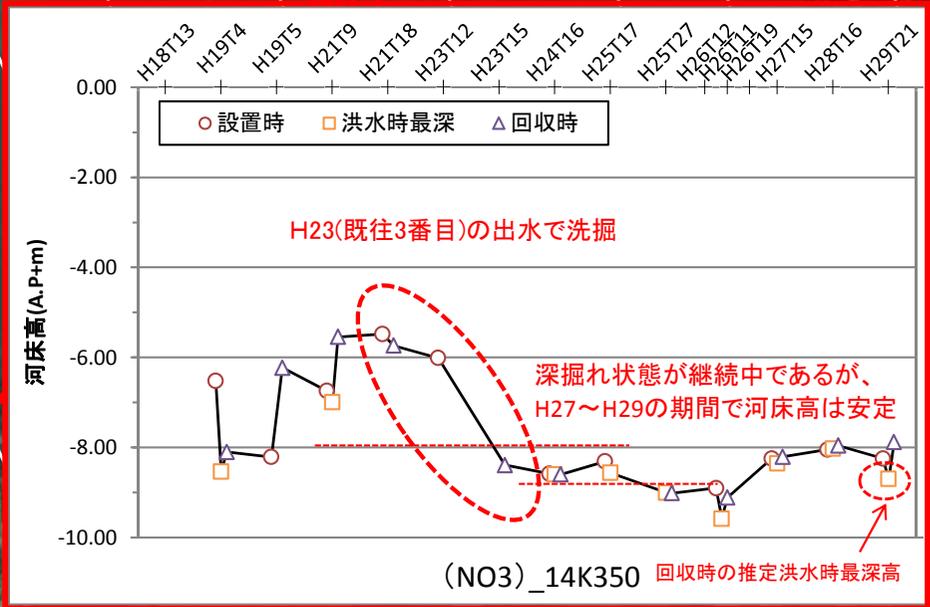
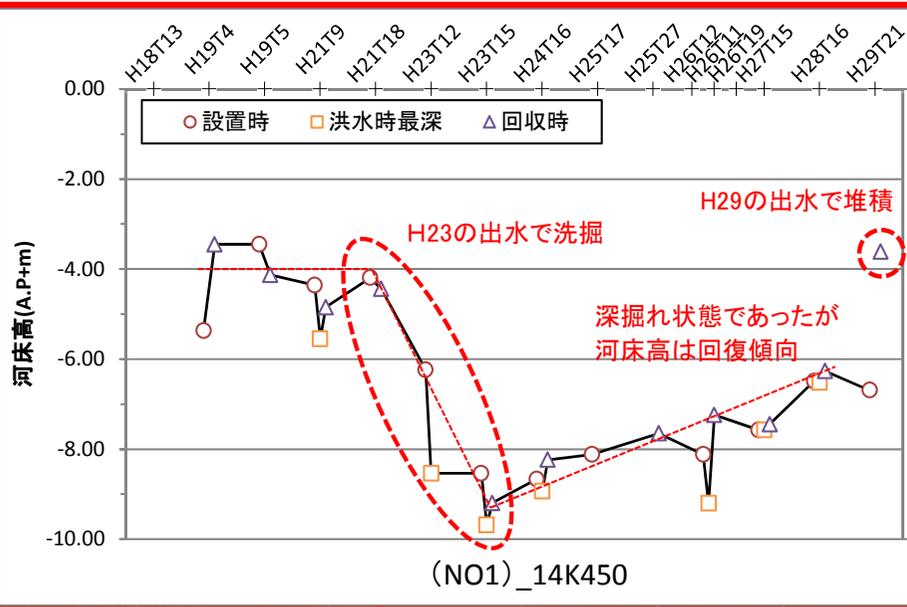


※NO. 3、NO. 7は機器不良の為観測結果は不確定  
NO. 1、NO. 4、NO. 5は堆積により機器未回収

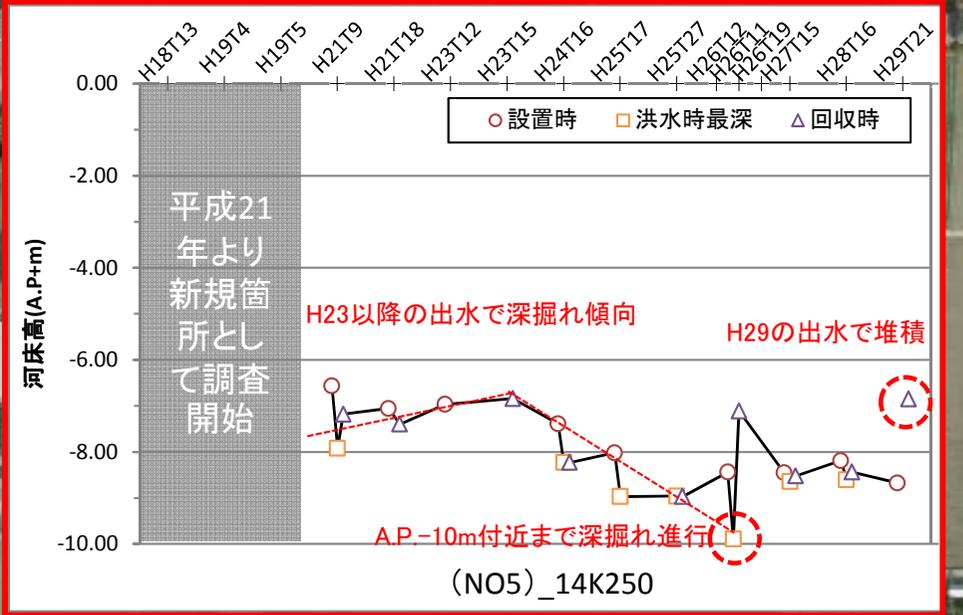
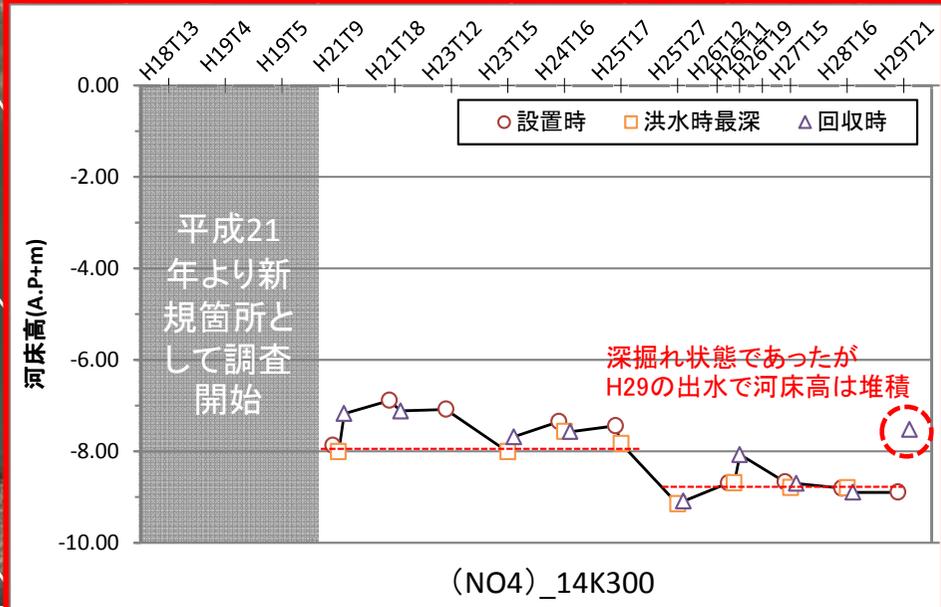
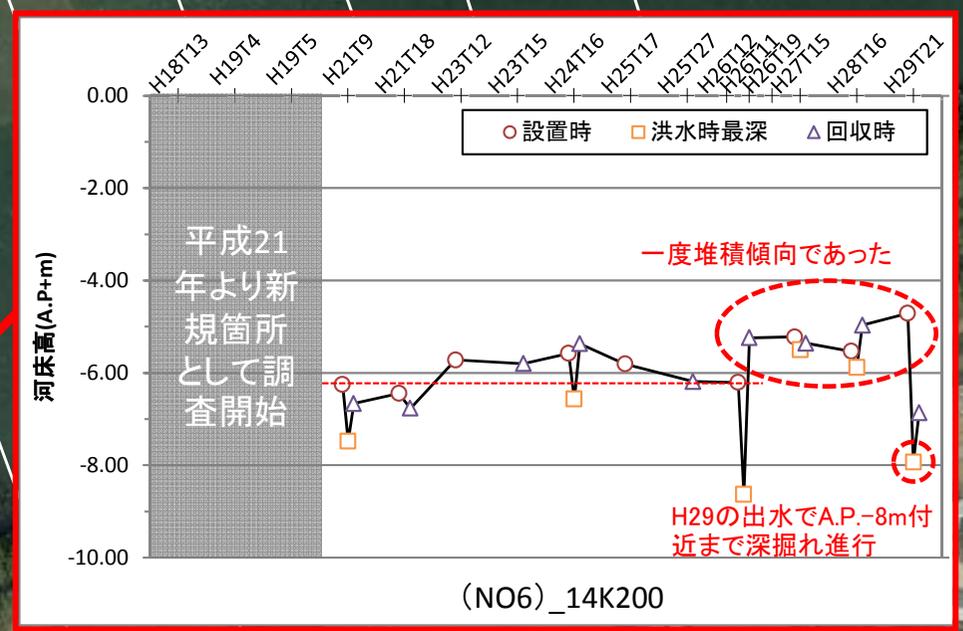
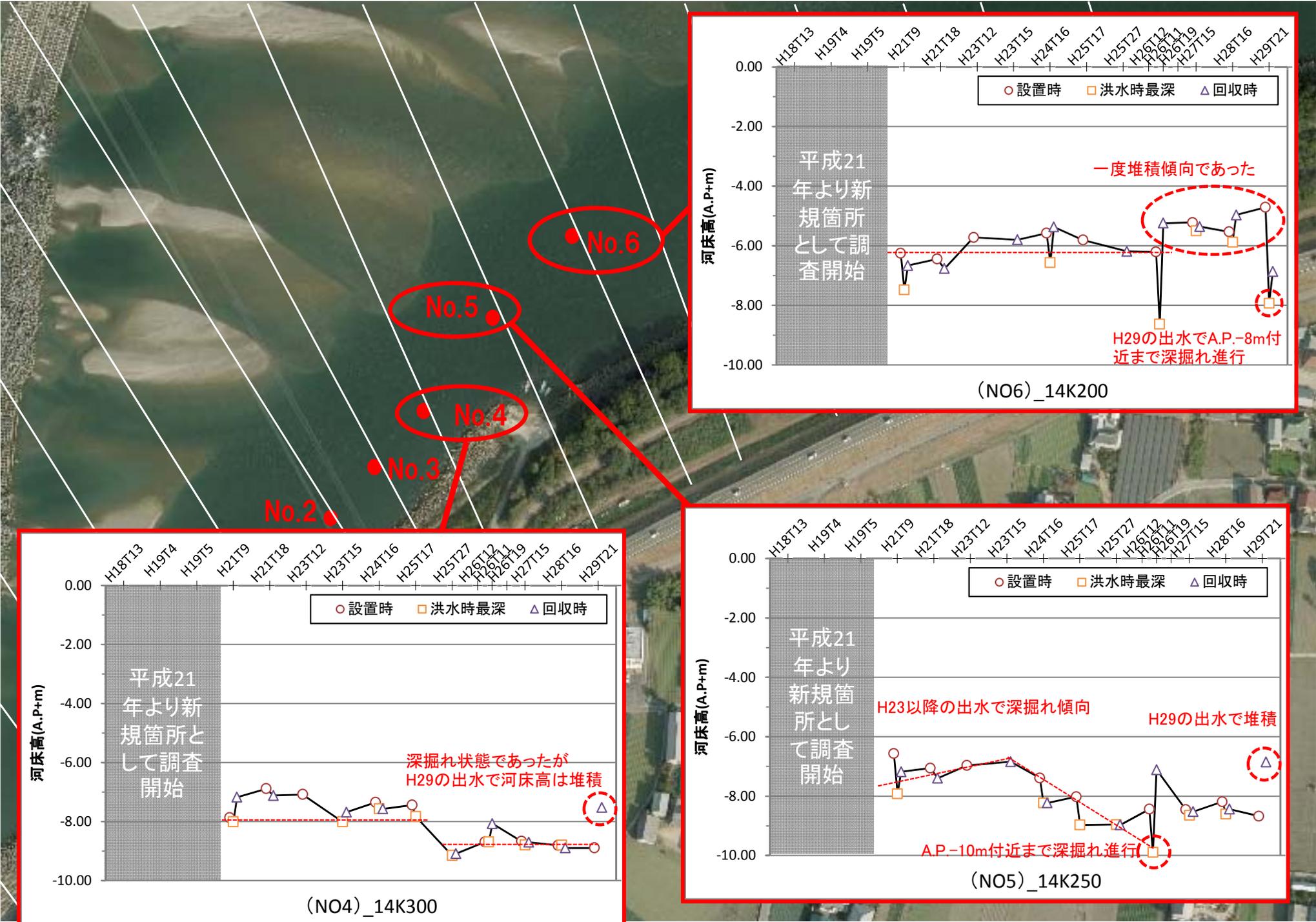
# 堰下流右岸深掘部経年変化①

## 調査結果

平成29年の台風21号通過後に機器を回収した結果、局所洗掘箇所は対策工の実施により安定しています。No.1・No.2・No.3で一度深掘れした後、その状態が継続していますが、No.4以降では河床高は安定しています。なお、NO.3及びNO.7は機器不良の為、機器回収時に埋没していた高さを、推定洪水時最深と記載している。



# 堰下流右岸深掘部経年変化②



# 堰下流右岸深掘部経年変化③

